【レポート販売】「モバイル3Dの動向と今後の展望」を販売開始

報道関係者各位

平成２３年４月１日
株式会社クロス・マーケティング
（東証マザーズ 3629）

「モバイル3Dの動向と今後の展望」を販売開始

～今度こそ普及なるか シャープが注力するモバイル3D市場～

■■ 要約 ■■

マーケティングリサーチを行う株式会社クロス・マーケティング（代表取締役社長 五十嵐 幹 東京都中央区）は、モバイル・マーケティング・レポートの企画・制作を行うエムレポート（代表 大門 太郎）発刊のレポート「モバイル3Dの動向と今後の展望」の販売を開始しました。

詳細ページ: http://www.cross-shop.jp/products/detail.php?product_id=518

■■ 資料概要 ■■

◇02年に国内初の3D液晶搭載端末が登場
最近、3D液晶搭載端末の品揃えが増えつつある。しかし、国内市場において、3D液晶搭載端末が市場投入されたのは2002年11月 に遡る。シャープがNTTドコモへ「mova SH251iS」を納入したのだ。ただ、当時、鳴り物入りで投入されたmova SH251iSも大きく普及するには至らなかった。

◇現在は大手事業者3社が3D液晶搭載端末を投入
第二期ともいえる今回の3D液晶搭載端末の市場投入は日立製作所が口火を切っている。日立製作所は2009年12月 にKDDI（au）へ一般的な携帯電話端末（フィーチャー・フォン）としての3D液晶搭載端末を納入した。一方、シャープは2010年12月 にNTTドコモとソフトバンクモバイルへスマート・フォンとしての3D液晶搭載端末を納入している。また、シャープは3Dコンテンツのコンテストを実施するなど普及に力を注ぐ。

◇今後はNintendo 3DSがモバイル3Dを牽引
ジーエフケー マーケティングサービス ジャパンによる携帯電話端末の販売ランキングによれば、総合ランキングにおいて、「ドコモ スマートフォン LYNX 3D SH-03C」は販売開始初期には第3位以内を維持していたという。ただ、現在では中位以下に落ちており、3D液晶搭載端末が爆発的な普及はみせていない。しかし、今後は「Nintendo 3DS」などの携帯ゲーム機の3D化により、大いに普及が見込めそうだ。

■■キーワード■■

◇今度こそモバイル3Dは普及するか!!
シャープは2002年11月16日 にNTTドコモ向け「mova SH251iS」に引き続き、2003年6月20日 にもNTTドコモ向け「mova SH505i」の3D液晶搭載端末を市場投入した。mova SH251iSの販売時には液晶部分が本物のプロモーション向けmova SH251iSを用意したものの普及には至らなかった。

◇3Dコンテンツにも注力するシャープ!!
シャープは3D液晶搭載端末を市場投入するだけでなく、2010年12月 から3Dコンテストを実施している。また、全国で3Dコンテンツの体験イベントも開催しており、今後は3Dゲームなどのコンテストも企画しているとされる。さらに2011年4月からは3DコンテストにCG・アニメーション部門を新設する考えだ。

◇モバイル3D普及の切り札は!!
当初、モバイル3Dは3D対応TVの普及を追い風に普及するものとみられていた。しかし、3D対応TVの普及の低さからモバイル3Dも普及するには至っていない。そのため現在では「Nintendo 3DS」などのゲーム機の3D化により、3D液晶に対する認知度が高まることでモバイル3Dの普及が見込めそうだ。

■■ 2.3D液晶搭載端末の販売動向 ■■

◇販売開始初期は総合でも第3位以内を記録したLYNX 3D SH-03C
2011年2月14日 から2月20日 時点において、ジーエフケー マーケティングサービス ジャパンによる携帯電話端末の販売ランキングの順位をみると、「LYNX 3D SH-03C」は総合ランキングでも中位に位置している。一方、「GALAPAGOS Soft Bank 003SH」は下位以下となり、現在では圏外となってしまった。特にSH-03Cは販売3週目まで第3位以内の座を獲得していた。

■■ 目次/図表 ■■

要約
キーワード

１．市場概況
02年に国内初の3D液晶搭載端末が登場
現在は大手事業者3社が3D液晶搭載端末を投入
表：国内市場における3D液晶搭載端末の変遷
今後はNintendo 3DSがモバイル3Dを牽引

２．3D液晶搭載端末の販売動向
販売開始初期は総合でも第3位以内を記録したLYNX 3D SH-03C
図：総合ランキングにおけるSH-03Cと003SHの販売動向（2010/11/29～2011/3/6）
表：総合ランキングにおけるSH-03Cと003SHの販売動向（2010/11/29～2011/1/2）
表：総合ランキングにおけるSH-03Cと003SHの販売動向（2011/1/9～2/6）
表：総合ランキングにおけるSH-03Cと003SHの販売動向（2011/2/7～3/6）

総合では中位も事業者別は第3位のLYNX 3D SH-03C
図：LYNX 3D SH-03Cの販売動向（2010/11/29～2011/3/6）
表：LYNX 3D SH-03Cの販売動向（2010/11/29～2011/1/16）
表：LYNX 3D SH-03Cの販売動向（2011/1/17～3/6）
総合では圏外も事業者別は上位に位置する003SH
図：GALAPAGOS SoftBank 003SHの販売動向（2010/11/29～2011/3/6）
表：GALAPAGOS SoftBank 003SHの販売動向（2010/12/13～2011/1/23）
表：GALAPAGOS SoftBank 003SHの販売動向（2011/1/24～3/6）

３．携帯電話事業者各社の動向
NTTドコモの動向
LTE時代には端末でも3D液晶搭載が定着
2010年12月 からLYNX 3D SH-03Cの販売を開始
表：LYNX 3D SH-03Cの主な仕様
図：LYNX 3D SH-03C（Fairy blue）
表：LYNX 3D SH-03Cの主な機能
CEATEC JAPAN 2010で要素技術を出展
WIRELESS JAPAN 2010で携帯型多視点裸眼3Dディスプレイを参考出展
表：mova SH505iの主な仕様
図：mova SH505i（アトランティック・ブルー）
表：mova SH251iSの主な仕様
図：mova SH251iS（スカイ・シルバー）
KDDI（au）の動向
2009年2月 にWoooケータイ H001の販売を開始
図：Woooケータイ H001（開閉時／折り畳み時）
図：Woooケータイ H001（折り畳み開閉時）
表：Woooケータイ H001の主な仕様
CEATEC JAPAN 2008で3D液晶技術を展示
ソフトバンクモバイルの動向
2011年2月 からGALAPAGOS SoftBank 005SHの販売を開始
図：GALAPAGOS SoftBank 005SH（リリー・ホワイト）
表：GALAPAGOS SoftBank 005SHの主な仕様
表：3D映像コンテンツのプリインストール一覧
2010年12月 からGALAPAGOS SoftBank 003SHの販売を開始
図：GALAPAGOS SoftBank 003SH（ミラノ・レッド／ネイビー・ブラック／ホワイト）
表：GALAPAGOS SoftBank 003SHの主な仕様
表：SH-03C／H001／003SH／005SHの仕様比較

４．シャープの動向
モバイル3Dを普及させたいシャープ
図：シャープによるモバイル3D市場への展開
2011年4月 から3DコンテストにCG・アニメーション部門を新設
表：シャープ スマートフォン3DコンテストにおけるCG・アニメーション部門の概要
2011年1月 にスマートフォン3Dコンテストの受賞作を発表
表：第1回目のスマートフォン3Dコンテスト優秀作品（静止画部門）
表：第1回目のスマートフォン3Dコンテスト優秀作品（動画部門）
2010年12月 から3Dコンテストを実施
コンテンツ拡充は重要課題

全国で3Dコンテンツ体験イベントを開催
表：シャープ スマートフォン3Dコンテストの概要
今後は3Dゲームなどのコンテストも企画
実は2002年にも3D液晶搭載端末を投入済み
フィーチャー・フォンへも3D液晶を搭載見込み
2010年11月 に端末発表会を開催
2010年4月 にタッチ・パネル対応3D液晶を発表
図：新ディスプレイのイメージ
これまでのモバイル3D普及失敗要因

５．その他の動向
LYNX 3D SH-03Cに3Dコンテンツを提供したTXBB
エイチアイの動向
LYNX 3D SH-03Cに3D SAKANA+がプリインストール
eruptionSTがLYNX 3D SH-03Cに採用
2010年10月 からeruptionSTの販売を開始
表：MascotCapsule eruptionSTの主な特長
2010年5月 にeruptionの立体視対応を発表
2010年12月 に3D関連の調査結果を発表した日本エイサー
表：3D立体視の利用動向に関する調査の概要
表：3D立体視の利用動向に関する調査の主な調査結果

６．モバイル3Dの普及拡大と阻害要因
定番化するにはキラー・コンテンツが必須
【モバイル3Dの普及拡大要因】
3Dコンテンツの充実!!
他メーカの参入!!
携帯電話事業者の関心／注力度の高まり!!
Nintendo 3DSの登場も追い風に!!
図：モバイル3Dの普及拡大要因
【モバイル3Dの普及阻害要因】
キラー・コンテンツの不在!!
携帯電話端末の品揃え不足!!
ユーザの関心度の低さ!!
3D対応TVの普及の低さ!!

７．関連リンク
表：関連リンク（五十音順）

編集後記

■■ 概要 ■■

商品名 ： モバイル3Dの動向と今後の展望
発刊日 ： 2011年3月17日
版 型 ： A4/28ページ〔PDF資料〕
発 行 ： エムレポート

販 売 ： 株式会社クロス・マーケティング
頒 価 ： 15,750円（税抜 15,000円＋消費税 750円）
※本資料は、メール（PDFでのご提供）となります。

詳細ページ: http://www.cross-shop.jp/products/detail.php?product_id=518

【お申し込み方法】
上記URLよりお申し込みください。

■■ 株式会社クロス・マーケティング 会社概要 ■■

名称：株式会社クロス・マーケティング
本社所在地：東京都中央区銀座8丁目15番2号 銀座COMビル6Ｆ
代表者：代表取締役社長 五十嵐 幹
設立：2003年4月
URL：http://www.cross-m.co.jp/

■■ 株式会社クロス・マーケティングについて ■■

株式会社クロス・マーケティングは、国内130万人超の大規模モニターを軸に、生活者の「生」の声を主にインターネットを活用して収集するマーケティングリサーチ会社です。
生活者の嗜好の多様化や、商品サイクルの短期化に対応するため、ネットリサーチの優位性である「スピード」「コスト」に加え、「品質」を最大限に重視したリサーチサービスを展開しています。
調査企画から設計、実査、集計・分析レポートまで、マーケティングリサーチに関するあらゆるサービスをトータルにサポートいたします。

■■ 本件に関するお問い合わせ先 ■■

株式会社クロス・マーケティング
担当部署：ライブラリビジネスグループ
Cross Shop 販売窓口担当
Tel： 03-3549-1319
Fax： 03-5565-5458
Mail： cs-info@cross-m.co.jp
Facebook：http://www.facebook.com/pages/Cross-Shop/164004066984033
twitter：http://twitter.com/cross_CS

■■ 東北地方太平洋沖地震につきまして ■■

このたびの大震災により被災された皆さま、そのご家族・ご関係者の方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

弊社の対応につきましては、ホームページに記載させて頂いております。
株式会社クロス・マーケティングHP：http://www.cross-m.co.jp/

被災地の一日も早い復興と、被災された地域の皆さまの安全とご健康を心より
お祈り申し上げます。

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com